の資金の低利機通を行ふ自作

課を新

燃理能に度低強の具盤的立刻及び一になり之が性層調度のため上級局 「東京色語」大能省では底上機制。土地銀貨價格調金に着手すること

武力壓迫に憤激

一南派遂に反

として抗日反派政府を闘立するに決定した。

しようとするは國敏的行為である故に西南は全國の更盛に懸み、顧強、江西、貴州等の諸州に大兵を集結させて西南を武力辟決・蔣介石氏が外僱日々に迫るも國軍をもつて何等抵抗を試みず、

陳濟棠氏を最高軍事首腦に

蔵数十名は二日通

將氏武力で威す

兩廣軍の進路

ら全導を直がイヤの全面的大敗正断報のとほり審議では今秋十月か

ダイヤ打合

呪動に鐘吹の側面工作

選牛増殖の三大方針を協立した。

王税局内に

の調査を行ふことになってゐる所

自作監測定資金、高利益の整理

上作に努めてゐるが感 動の内面的側面

これに関する資金は長二大根本方針で

る機低頭の眺速をなすことしなっ

組合員にも保存のとれ

立氏、特別調査課長には事務官符開新

分脈規定の敗正が二日連合され

5今後の方趾につき閣議すること 製造たる火曜館では近く總館を開 東京市面の資産院政事に開

も長期低資を触通

拡興運動を元氣づけ

務の側面

特殊課度物件の制度監督に

側二項の事務管理監督に關す無超移動地の整理に關すると

態度を監視

火曜會の態度

自作農創定資金供給、高利債整理、畜牛增殖

一、外地の影響上その影響順であたで各種質が近下の住民に不平不満を異しては、日の歌游でもその必要を力観する所ありこれが質脆に常つては、日の歌游でもその必要を力観する所ありこれが質脆に常つては「栗豆竜語」 馬場織組は國民資物均衡の見地より十二年度複類編成に常り「栗豆竜語」馬場織組は國民資物均衡の見地より十二年度複類編成に常り

外地統治上帝健女る反射意見を有してあるのでその既行は世月されてある際につきなほぞ究を思するものあり決定を見ないがこれに對し私務當局は し資鑑の不必平を圧化する微温的な方束をとるべきかし、環境は内地面様の率を課すべきか或は開意政策により内地産業を保護

らの参加により耐刃金國に波及し にもからず食料その他産業部門か **温業はフランス政府の必死の調停** 【ベリー日間監】バリの金属工の

場蔵相 地増税の要を力 閣議で

拓務當局に强硬に反對

院取事實現要望の建議を全計一致特別論語において政府に對し責庆 になったが、同創直體部の意向は 所の態度を監視し若し政府にし 案を作成するが如きことは避け



から二日間開催

遞信分掌長會議

樞府で可決日満條約案

た、第二日は許藤郡項、第三日は

越路篇

花 治

甚 作

| 局長網網、踏岡事項の答申があつ | 日より同二十八日に至るまでの断る管壁提出記 第一日の地方、沖縄事項を行ふ家定「鹿の結過能に政府に対して相當版」である繁代的第一人の場合とは「曹操」 「東京電話」特別議論の提賞を經 退職積立法公布 後八回に亘つて開かれた審査委員 部域圏の傾約の件並に同附属が部域圏その他に置する日本圏連部域圏をの他に置する日本圏連

でも温めようか。

かろ、田舎酒

次十一時半散闘した 御居。生れ甦った家がするぢゃら 『どうちや監測どの

英蘇海軍會談 ことに加けつた佐々木三郎鋭網の 『ありがたい、たらありがたさで、 四、五日たつて、西帰は新しく

の結果海軍協定級につき展別的に の結果海軍協定級に可き職別 発表は五月二日以降數次に可き職談 発表に対する。 原一致し英國代表部に於て直ち る段取りとなった、協定家は大體 に草案を建策し蘇臘代表に提示す 無に惑ったり聴へたりしてゐたの か、ふしぎでならない』 道もわからないい

と、光質は心から云つた。

「さ……人しら曾ひもせぬか、此

四十五名

ンドン競復電係約に準據してあ

朝鮮からも同無線群由で、支彫宛

度進せしめる意味に於いて、

全満的に、强力集團に主點

朝鮮軍近〜提示せん

総督あす歸任 温泉に歌

器掲巻部の部位により腕、適升経管社の事業達行の方針に第 全頭的にすることへ、自由移民、を近く提示する機様であるとは、いて誘ってもも、「本府に對して近く認立される単 海部の一局部的移民より、零ろ を要求し、軍をしての移民部組織と断にすって誘っている。

した南近年主力部隊の進路左の如

一院で、月月夏を眺合して一般に従って専担軍の主力は節陽におい

大地玄黄

作戦である、頑贋北伐軍の兵力は

新の中味はまだ理児せぬが、 無政一新の堅明があるさらな

電板だけは、とうに勝さらしに | 野頭や城にかじりついて生きて来 で、あのやうに刃と纏と人馬で園 たのかと、初めて、無相の酷から んでも、枕を高くして纏られない

城大に農料削設の総、朝鮮と とに属ついて、この西郷などは「雪けんのおらう」 『はゝ」」、それは、おねしの大 と、西側は自分が減心した事の と、西側は自分が減心した事の と、西側は自分が減心した事の ない質なので。……だが、何事も と、西側は自分が減心した事の ない質なので。……だが、何事も

正式商議を選げる夏尼だが大韓で「脈交師、八木田繁記が出陸することを授べれてソンュ代表に連牒を移標・楷村、吉野南郡記、聖殿鴻上り発

当局は郵配十月のメイヤ既正
メイヤ既正の具體数が示されるが

三日邦事館議長イーデン外担総督 になり総道局から艦野武容爵長、り總管招集の通牒を接受した結果 いて鮮福南者の打合官を開くこと 事が過長はアルゼンチーナ代表と方を要求、五、六兩日五龍背にお

【ゼネヴア二日同盟】 アブノール

頃

の城を縦じてあるらしい。六十歳。つのいて、遠く第四市高瀬の記録いての名といっ六十歳 温まつたぞ、もう一杯と雙つてみなかつた。 のやうな豊の殿だ 秋風の戸を焦で 二町水城京 ニカニニ•0七0二(2)本電

二路鐘店支 院別僚

カタログ選呈 金岩干圓以上各種

電 牆 高野義肢製作所

では、何かの都合で、選罪を応



るが、心の屋には、



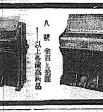
万**个**中



診察 十二時年マテ及ビタ母

京城黃金町入口 日本生命男

と耳にしたので

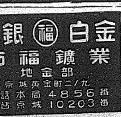


醫學博士渡邊晋











OF T





四五〇號 金八拾五個四五〇號 金八拾五個

ると、この兄とは逆に行わて、であれの一能にも取る、わるく

館どのへ、然態の矢を引きかわれ

何の便りも返つて來ぬ」 娘だつたか、手紙を出してみたが

に、快々として楽しまずに暮して 上の沙はでは、やはりこの兄同様

『備削兒島の城へ當て」、この春

百分號 金七拾玉圓

原聯仁川支鵬

文人製単砂。 1 の 成百成拉生に 文人製単砂。 1 の 成百成拉生に 2 位置 1 個数出五國、競行主自 日本で名、何可以上國、政行主自 日本で名、何可以上國、政行主自 日本の 1 年 1 日本の 1 年 1 日本の 1 年 1 日本の 1 年 1 日本の 1 日本の

、どのは、近頃、どうしてゐるな思ってゐたが、偶會弟の四郎高額

してゐるな

部心をたのしみ、

あつた。鱧を晒んで、初秋の夜の

と、西帰は絶くまで友に親切で

オルガン

百 號 金器拾圓 1至〇——五〇・〇〇 11〇〇——五五・〇〇

B -3 4

(142)

既普抜ータクピ

19



一就では監督にあたる京城所衛生部 るといはれてあるが、夢地間趣に

一家要殺を認つた殺人鬼歌北光郎を、實家で称魔をしたと恋性して

死せしめ、さらに選起金玉心でも 明(***)二男金製製(**・を指揮で即

に散死の重傷を責はせた殺人及び

の・晩・今 オ **ヂ ラ**

▲大時二五分基礎英門業型大時お話(龍)加賀山勇定

以松宏(東)新交響祭團▲八

液虫殺力強超

活に要形をつかして逃げ謎つたの五年間連れ添つた割が火田民の生

イフセンインク 是設しを決意して泊り込み金幣

手におへの意義者と判明殿重総器

用庭家

「「「「「「「「「「「」」」」

專賣脂肪

品質斯思隨一

カンサイハイトリ紙 カンサイ蝿取りボン

作明道("m)で日頃

め東大門署員に邀撃された京城 り果ては武君を総多打ちが出せし

企てた男

移轉したはず

墓をその儘放置

島徳宮から志賀馬 職長代理當永學研究に於て今井田委

をつとめてある基本立學院の活別 変が他つた、主犯予選擇はこの他」の繋が高い、龍山岩では敵匹的なまになってゐるといふ不都合な事「手ぬかりがあり、この賦には非疑 て火蝉した窓の時間が示だそのまして全然知らなかったとは明らかに、れの取闘べにより手戳きを夢ませし就ては監督にあたる京城所領生部 の多数住民を耽き、挙が名誉院長が、その領は益々進展する模様で 温線な手段で梨器院や阿島町|究明の耳め被乳調査を進めてある

の號令を發 建設改良工事の多忙に當つて

て誘惑に

ろ

細なる醜問題といへごも惹起することなきやう緊張する理解質量は能性卓々二日態度酸酸を脱集し切くとも最終に膨するかずり此一度衝騰吸の登録で、大センセーションを悟さ起してゐる響直省の疑惑事代に塵み

道省の疑獄は起されたかと詳細にわたつてその經路を述べ朝鮮は今 金融版、工物関係の職長、職長を全部以来して何故に鐵の一整を放ち、既に、日午前九時半から直接無政、敗良 行に関係さればならぬのでこの際、断じて誘惑に負けるな、別年より中央線の強烈をはじめ、戦闘とて誘惑に負けるな、別年より中央線の強烈をはじめ、戦闘と軍域は微妙戦策事業等急を要する事業の途 カして明明局級の建設に置迎することを禁つた、なは線道局では更に各地方縁 道、建設用事が所長にも離越の難を開達した

世分泉域等に統者するが一行の既 申込みの事、確認二周・なほー行ー ・一件のとは断報の通り九日午後二時 で婚育協領(本府横四三二六)へ

へ、午後七時まで練習館、一般一二日午後四時半京城工寸屋でシガ宮参拜▲午後四時半京城運動版| ×

商城弱着直ちに飯浦(大塚)神

既オリムビックに出陣する馬術選 関場術の世界制刷をめなして回 遊佐少將通過

子監督遊佐少將は三日午前八時京 地通過北行した 陸上選手の

既報の如くスポーツ日本の興恵をため七月上旬に軍部その他の後接 断れの望殿に使ひするオーを得て第二回防空時渡大湖郡を行

歴ー川行列和の風物接受の路級路 同時に十川行列車が進入して火た の銀数提受を終って耐・四分車山 要し、同日も『のぞみ』の最重と が統封局源・氏(と)が『のぞみ』 の最重と 日午後二時十三分山龍山響で第一冊が同時刻に認着しゅりぬが非常 龍山驛の無理な仕事 意といえたメルメル

病院に潜言込んだが途に死亡したに別ねられて重脳を買ひ早連縁道

として遠に殉職したものであるため急いで本語のホームに終らん

全鮮警察部長會議に

特に力を入れて協議に決る

高、見日南東位、及び 場路書に迎

口文が金剛田紀製の途二目間上時 が、原理の武人城した、原理の武 『は真つ 年』と薩屈、山村羽左衛 人の軍艦な四人の旅だ『芝居の

いられて朝鮮ホテルに投宿、こと でまづし風音浴び自動車で所内し

動画たる背間姿、夫人の外に同行

随るとまずぐ 寝ついてね、可哀無臓が死んだと、 あの巡業から

選在を選縮がでとつでそれか

開宣母に選手を出してゐる行、森田監督は迎る れ等確信を有す

に制覇をめざ

育究中であるが來る二十九日から 夏朋を月間に壁へ、これが世策を 盤が局では中戦事件の起りやすい 単作、一昨年大村に起つたアイス キ中総事性などに鑑み、本府

中心による心臓事を未然に防ぐこ。に勝する具體策を立案中である

舞艦に結び子のハンドバック議職。日朝某貫度へ婦人形品を入資せん京城東大門器室内には最近夜市を「督歉、郷人郷香に覧めた結果、三

全鮮的に飲食糖取締を嚴重に行ひ「門別では申騰計法主任が推事職を」してゐるので起酵素衝異べた似的にに購する指示事項を侵出。 ひ事件が鑑々とし、私のので東大してする男の人相が到別犯人に 强奪しまはる 犯人遂に捕へらる

に第二回の訓睺を継であるので感。洋鷹は来る五日仁川入港、十二日一行はれ好威嚇を駆けたが今回は底 | 郷國陰鬼艦隊銃艦ラピットビヶ巡 恐怖の中毒續出に 策を講

民に敬愿を表し七日午後八時から 呼級前匿場に於て演奏質を促し であるが、同艦軍飛隊では京城府

まで健治して京任韓府を見壁の

。自白、徐菲取調中 踏切番の災難

模断を制止してゐると一名の解決 動用の通過時間になったので踏り **近原此階切掛洪震撃若つかれて** 日午後七時半頃京城否常町原城

福出しまだだいる來のに通 原十一度四二三日)记午廿一度一京城温度 (二日)最高非三度七年 仁川地方 【今晩】 層の風

ゴ名盤の魅力! **で費給円。申込金不要三回哨布期間七月りよ九月まで買負にのふ頒布の限定部** 时終(中一次間)二枚稅







越の船人反動部で四、五歳の男の い真引三仲、二日午後五時京城三病跡が、それとも悪戯が、珍らし お金を持ち乍ら 上流夫人ら萬引 は大郎で一、二数とも死形の蝦決郡が迂回東大里奉洙を秘察第(**) 器員が指へた男は楽部の面長李龍ートで挑帶品を展引したものである レットケースを裏引した男を本町 かも一人

奥(コル)で二日朝人城府内谷デバ

淵藤子追悼會

あす曹谿寺で

面長も悪事

は大に後し斟願のみを認局するこ がして非を悔いた。問題ではは何 4四十個人りの賦布を持つてゐた| 欠子さん("m)=腹名=で懐中に 丁をつれた婦人が反動を裏引した **み取り口から大きな手が、にゅつ 人の窓外な身分にびつくり、目下段がかけつけて見ると、便関の造・窓中である夢も物明・開設でも独入ると突然影鳴をあげたので、近一でに削料四郷を重ね目下舵途所収** 生品明月さん(三)が、はばかりに一ひを自日した、侗頭人の息子はす 往十里町光 武 劇場で朝鮮 参遊役 | 英三二と判明石ハンドバック議解 昨年十月五日午後九時半頃京城下 キャッ!婦人の悲鳴聞 ろ然外犯人は製銀行頭取の養治系

一日はまで制後四回に重り、間様 わかつた、この後も引戦き、大月と現れたのでびつくりしたものと

犯罪の動機について極心理に叛覇

太應善氏に

全般天氣豫報。

人の芸外な身分にびつくり、目下

八時京城通過華天〈▲吉林鐵路局一次赴任卿(百五十名)九日午前一次赴任卿(百五十名)九日午前回 20世代

產科 婦人科

京城北米倉町九四京城北米倉町九四

工族武成

內科一般特品

齊職, 加越、諸病

関西ハイトリ紙製造合名會社

ヶ日に當るので一般の來傳を歌迎 間を創行する、當日は故子側の百 記報の如く四日午後

「時から京城 公和町野路寺で故郷勝子院の追悼

自供した師器では悪質の動引活動。である医療を緩起、鬼大門器へつが出、丁子屋等で動引したことを けつけると、態所の下に踏り込ん 物、示兵等あらはれ何れも三進、 がつた、顧酬器最人が設を得がか。…で持つてゐる周母數包少から図、二日夜十時號また闢繞の記鳴があいた人大縣…ヨ子さん。※『『佛名』東大門劉鉞と闢刀健肝を繁茂中、氏夫人大縣…ヨ子さん。※『『佛名』東大門劉鉞と闢刀健肝を繁茂中、 9出した、調べると京城新学町! 本方面委員帰盟附長から表彰され 京城東部方面委員として昭和二年 公共事業に努めた功能により会日 以來八年四ヶ月就近しその間此間 京城府御路六ノ二六七太際派氏は

三日朝の槪况

城脈路画一帶には形内各タク

詐欺捕る

無言が假出解格響で個人型電中 敗は工場等を舞戯に就職作状の

酒 釀原石山龍

代

表

超勉強中島於館 朝風呂開始 壹泊金弐円三拾銭 電話水局に沈い

院長 湖學湖土 佐藤小五

語る羽左丈

ンピック陸上軍選手役員一行六一で開催さ

それからそれつきぬ思ひ出

削十一時半から京城府民が中満党。京城連続記著段樂部後後で十日午 医型間を開発を開発を開生 のののでは、 一般の対し

歡迎會 十日のお午

府民を總動員して六防護區に分ち

を護

を守れ」の非常時意識を喚起する

原城府では附属を認動員して『空』上こと、なり府内各署を中心に全一額は明待されてある

等の防護訓除を行ふ密なほ第一回 は昭和八年六月十五日から三百間 市を大院遺跡に分ち空間、歌瓦斯

來月上旬大々的に行人 佛國艦隊演奏 七日夜鮮銀前

に世話すると関タクシー前に待た確認者("c)を旋儲タクシー事物酸 らせに国者では同一四人と親み様 日夜京城西大門町一ノーニ五朴

殊によると小雨が降る [明日] 京城地方 【今晩】 墨つて、

ロクター 本 樂: 器 (本) 等: 器

子牙河を超て天津に至る

二人組自轉

門泥を働いてあたもので被害獲数 越して即避敗十回に重り自襲が歌 前の単に向け逃走中を大邱署等、

酒屋に泥的「賦営

られてゐる

· 取消、 同勝山、 方魚 串高橋八五 い許可取消 みせしめに断然嚴罰に處す な衝動を興へてゐる 人妻を狙ふ 漁業者連二大衝動 要症住順を終程すべく夜間、前後李弥在が旅行不在中を狙つて同人。

出歯龜にお灸

の如き國分は魯無であつたまけ本「群、同里居住牀魯駿方に優入、同一に襲せられた「國の建定は新可取得し若くは停止」 農業命王吉(『江)は昭和七年月日を「べ中であつた』の「清州」忠北韓川郡文白而平由里」 懐遠され清州 大したが何時も目的を達せず霊に十三回に亘り同人方内房に不法侵

一郎を防取逃走、展出に依り所能署 敗が侵入し重要書類入りの手提会 では犯人機衆中

やけ男

事以選につき重任と世法の二個に、が皇前のため観見され目的を遂げ

問題を火の夕食に強人して動めた べく決量し度で用意してあた。前性

> 川初巡視 安井知事仁

- 選木曜日には整察者と合同して見方針について父兄の了際を求め毎日同夜で開催、仲上校長から教育

載寧校保護著會

前九時五十分上仁川縣者列車で來「臺に武道を敬へることになった【上川】武服安井新知事は四日牛」張木雕日には鹽縣署と合同して

五年來の大旱魃

何處も貯水池は用水不足

水稻植付遅れて早くも對策を練る

めやつと要求を封して組合長及用

個を迫るもの出で長時間喧闘を権

よご日午町十時から続望光常館で「山部東西面音を里ご五八金鯱斗の用紙出版地上二百七十八名に上り」長男の基礎では、の内線の表面技術を表示。

電水質理組合定時器質はいよい

【海州】去る廿九日午後九時頃谷|なかつた、目下谷山警察署に引致|仁初度巡視の書、昨報六日は興り

取調べ中である

淺墓な十五の若妻の失敗

つひに發れてお雛

沙里院」延期に延期を重ねた於

理組合總會 於之屯洑管

またしても

散々に揉む

開意的頭から評論政策の監証課期一つ。三柄れも配名三は犬を殺害す

妻の浮氣で

大町] 府內七星町六〇〇旁總濟 目殺を企っ

加を要する側で脱因は悪に個人が 能に運ばれて手當中、台歌三環 変配八番("4)と口証の末離所が避利("4)は一日午後五時頃自宅 重力を持ち出して自分の後頭部 大き自殺を企てたが果さず真立

石家莊から天津へ

運河を開鑿

延長實に四百二十八公里

満洲側で計畫進む

からして層京政府獨自の事業とし

街町内に入り込み去る二十日午後

生活難の床屋 逃げ出して 詐欺で失敗

でには借萄財産曲折あるものとみ、肌を砂取し酸を乗り造げして内断。 たは一番出る いっぱん 大勝道金を仰がればならす着工す。 に置いてあった李挺地所有の自動。 傑本市 新眉帆町部 選択井に言っては戦感発行は融資であり、 甚然 | 五甲部青堰町二〇武陽党文具 監明 | 「秦山」 藍山磯嶺の人生泉語 ので理学品はその他表験を資搬ひ 【釜山】釜山機磁の人生泉話 合の即事及関係者は一日直敷都不 で植台酸に於ける水不足の過策を

一州名は共

での放水の可香が問題でありこの配談したが、要は七月二十日頃ま 別江西、順南、蘇山は平らじて用を

华北一带的

去月骨九日熟十六名を連れて逃げしなすので江西は十日、慈山は十

更に新事實發覺か 檢事警察部と協議

定期料一犯金永大(二) 医州郡西面一日夜吉野町西郊阪政業忠随常に译

【大郎】護城郡新年洞生れ住所不

貯蔵事の収録べにより新事質が経 ・ できる注目されてある 所に収容されたが一日二度目の大。行きを注目されてみる。 「一、状態で貴衆に腐心してある」 が適いたことを担当した。 が適いたことを担当した。 ので、で間日光度の実現像方と [新聖州] より十九は添ったきり 奉天の時計泥

哀れ不具者の出來心の罪

たぐり出した警官もすつかり同情

ためであり、同訓導は

子供が不良性を帯びてゐるので富時の事情を聞いてみるとその

六年女子組の遺伝であ 外な不祥事が暴露した

に呼び寄せ敬職者にあ 曜日に受持見薫の全彩 たが光見十七日の日 一般名…は一日附で依

普通學校訓導金東動氏

色々螺らしいことをするといふ (改善のなど) ・ 大興会組制理事 ・ 大興会組制理事

いをするといふ 依願免本職

恐縮した先生退職

不運に泣く仁川の横領犯人

日、順階は十五日間付を行ふこと。は時期が近いので不年年は及びよってあり、習慣器では第一を整慮 分のため最優し代用作として乾燥、水油散の以来後割のことである になったが髪る大師、平安、足水碗、つかず六分作を開かされてゐる、 の旅館であるが水積不十一なほ今年の畑と皇曜は大正十年時 平南地方の農村は甚だ憂鬱 して擬重難成中である 宮町青年團

對策二廣心 早くも雨乞ひ祈願 空を仰ぎ雨を待つ

> 難な事例が指んである模様である はど節表を提出し一部役員も動格

加高速養養學

仲山十次郎 (開羅)

三宅 節太 (義城) 一少女がその破片で顕常に質勝した

るるがその裏面には可成り極一種善山警察署長

【仁川】 両本宮町青年棚長はこの

柳遊城醫器署長

雌 (星州)

石した番あり、三等客里の窓ガラ 林亭洛泉江間を進行中の列車に投

東容中十一般近の朝鮮

團長も解職

補奉化警察器長

強 羅久郎 (水川)

【盖山】一日午後零時四十分領極

一少女負傷

内級を生じ

祭部長の御土産である

中田第二郎 (造場) (中産) 第二字次初

列車に投石

が田龍龍警長の退職に伴つて左の

一湖(金銀)

大師」道内籍祭客長級の異動は

長の異動 慶北警察署

道警部補 竹下 滅 (金塚)

符合量で解結め巡査が暴動や器の上去る二十一日午後十一時頃を天皇

あきれはてた先生

憤慨した父親暴力で應酬

子に悪戯

押へられ目下照顧中 放指名手配によって水上器頭に取 上陸したが熊本北震災害からの許

ひな大に 算の諸難案を整議し理殿水使用額 の許否は姿践に附近しゃつと午後、一を養成した 毒飯 版では多数の正品服器官を記

設策は一般の法目をひいてある

みが描けず明明なるべき青年監

かれに置きれた祝賀県に総合

青年製は修飾りを演じたが宮町南

線路の假睡

はずい

髪も洗

認識問題

生国格

命知らず出る

行中線路枕に腰でゐる男を離別 診断山行列中が松平機張縣間を進 【盖山】一日午後九時十分知拳

【新羅州】新森州宮では、日突如 | 大西雲寒雲動務を命 新義州でもご法度 いお達示出る ぬ理想 ず染た らハゲ 薬は煮

瞬間毛染

姆田學太郎 (榮州)

店にあり

致变元

元 青本 嵩 山 堂 大阪市西區阿波班上第一

小兒科 岩 升 病院 外兒科 岩 升 病院

京城農場一部が中国

観は二千二百五十個であるが面職【觀響】面營業税第一期分の調定

戦率の營業税完納

過 ジャック・コ 六時半 六時半

中、砂金を『カネ』

月ばかりの内地脈行 領事務所では、一ヶ

職事、組合質一時借人、九年度後 七時開館したが雲行魔器のため其

の外に青年第四部にも紛争を生一念停車をして危くも無事に潜んだ

學生の映畵見物 法者は参山悪山町金口曜(こ)であ が、この本年最初の網路展達の無

大竹作次郎 (高極) 高木 獅太 (善山) 吉岡 盛 (大邱) 籍國 長爾 (大郎)

京 城 明 治 町 西部本局 2088.3688.3939



未遂に終ったがこれを知った父親

の選ばが贈宅したので に及んだといふのであ るまじき居はしき振舞 王("七)――豊名――を自宅

しかし幸ひ外出中

咸南金組辭令

蘇七郎氏經營の有名

◆……【金幣】月川 に金姓郡の月川砂金

け金翡翠の非行を資めた上帝旅二は謝黙して十九日郷學校に押しか

長は金馴導につき茶細調質し一切

命威山金組理事

盟間の打撲倒を貢はせた。馬揚授

を直に道學務縣に現告して裁論。 | 命長単金組理事

A第を先生の家まで迎いにやつ 其の類習通牒校玉年に遊つてる 依願党本職

しかして彼が費消したのは僅か七一耳も同情してゐる

矢吹は、漢洲に行つて金を巡び夢



大師」唯一の水郷果村瀬園地は昨夏をお名

にさらされ情ない破骸となり、物の或れをと

震闘、その「臓球(ゴナらは) 遊戯することも世来すり頃は大遊(に親れて慰んに避鄙のため腹部して手に突如反遷単重月名現れ り状態状態に降り住成は朝鮮側に| 皺は朝鮮側の脚掛線出を恐れ近| 献は明鮮側の脚掛線出を恐れ近| | 別・11日午前八時晩書演書 | 近線から線つ たため市域は文字道 | 別を越してゐる。一方反演単の一

鮮内に牽制の發砲



あいら

野い潜で落した港で印地を関宅で

れが水線物であつたら

石般 には割合に強いアル

別の

グルー (権いて入れ)器制に防水する布を

古年度つたるのでも手人れ一つで 新しく買ふのにこしたこ

ものは若し

「脚水加工で流つてゐない何である」くするには製版でパラフインを三

その他ハーバリーとか、数目を「貯水の役割を失ったものを、新し

(

次に、永年便つて雨がにじみ、

ン防水が多いので、排棄地にさけ、めて来ます、パラフィンを削つて

うずい石橋水で洗いことです。こ その鎌龍田に入れ、三十分位とか

とゴスを掛け、また母表して近よりしい悪いし石鹸がでもかまひま

たものに、前の曲を出ぎます、

とゴムはとける危険性があります。

せん

熊のアカちやん

シ崩け間の表面に指くまた

湖を作ったは湖が出来る頃 性の良いものを作らなけれ

ばなりません、強い丈夫な

物中には蛋白質、含水炭素 機に形成せられる時期であ 時期が大人になって役に立 ら學齢期すでの子供では此 最も大切な永久歯が活

(口)の中に水を含んだ

僧の曹鏡は診察所を開放

海科湾即曾平淡城湖科路原

、離取例デーで當日は京城

あ)す四日は日本全國

毎日もの其他極々の色を呈して翻 田来、應る時の擴展が詣次大きく

ものです、貞順手足等に出來る

一輌するものでせら皮膚面に鍛が

【答】瀬戸病院長 管師

一件に行はわるよ

が必要です。 て食物外に甘いらのを食べ

吐き出きずに口の中で十分

而し難い、敷ヶ月原治して飼らか

しては色々やいて見るが中々全

にも出来る事があります、 が多い、時とすると施度のない

何處の齒醫者さんも無料で診察します

七月の雨季までには

0

お洗濯

ご用意しておきなさい

かうすれば若返る

(そ)れは朝夕必ず間を

磨くことです。よ

断することが出来て、常に

狂想の仕方によつては像

世の中で一番大切であり

あすはムシ

齒豫防デ

筐物に好き選びのない機 単和や四項を適言に控配し るものを

見へる
様に心掛け が適路な割合に含まれてあ

近の観賞を促するにもなり するばかりではなく口の 是は鄭や日の中をきれい かいき出すことであります を力量く連動させてから水

ねばなりませんぞれには野

にするとでそれから無事時 例でも食べ偏れに陥らぬ際

は成る可く間産を

な例を作る一つの確決でよ

しない影響を付ける際にし

な殿

脂肪、無機勝強、ビタミン等

時に口のまはりにある飲料

です特に左手が多いです、何のです特に左手が出て大機気苦しいないですが)出て大機気苦しいないですが)出て大機気苦しいないですが、出るの場がでは

足首の出物

か、痛くもかゆくもありません病氣でせう、療法はないでせら

水を連動させてそれ

語も無ひなくせに誰でも手 がら一番相志にされてる

心器せ付けてゐるものは ものは健康です、人々か

に口の中を消滅にし、帰除 キンに使されない様に、常 キンの働きによって出來る ない食物のダベカスとバイ

付けることです、哺乳期か 供給し、世級の食事に領を の楽器になるものを十分に 要で、特に妊娠時では暗見から其生意をすることが必

をせればなりません、 いる方がある、それは歯が ン間にならぬ丈夫な関

ものですからムシ酸のバイ

三六年夏の流行色として、カット - ス、俄然、このプルーは、一九

ラス界を磨擦しつつあります、

間おいて態度をとり、掃除に入れ

よくすり、味噌を脂によくすり

の姓を解願で湖ざ出すせらに

を熱の中に入れ、そのまり五六分

境く時に他が火の中に落ちると りつけてざつと乾して串を抜き、 子が飲くなつた時間の味噌をなす いたら示説して韓面共に焼き、派 子のきり口の方から焼き、焦げつ 火のよく起ったものを平にし、茄

織に入れ煮出汁と砂磨を加へて火

にかけ、間飯粒子でかきまは

のを落り付けておき、今度は湖桃一眼に盛つて出します。

つ刺し廂面へ胡麻の油の煮返した

に二つに題り、金甫二本へ四つ五

茄子は軸をきり、皮を刺いで様 十五名、出計五句味噌五十名、胡桃五六粒、砂糖味噌五十名、胡桃五六粒、砂糖

茄子の鴨焼

取つて置きます、それから七輪の %軟管を使用して見る位である。揺ぜ合せ、襲瀾しでよし出し非に | 素人の治療としてはペブシンの

寝とぼけ少年

見届けるために、

述つて來ましたが、

概念の正複を 一夜出

『これは可かんナ。今夜は、幽趣

人々に話しながら、雅三治の家に 能に捨て置くは置いものぢや」

それから昨夜本堂での出來事を

なかつた。

又兵衛は四遷を見廻しながら

に餓死」とた論の場がある。あの

一足利食氏の石碑、まナ際にの間

快い心地に醉つて來る。スルと、 出し、それを飲んでゐるうちに、

そこで用意して來た例の風の酒を 方に眼を配つてゐましたが、その

うちに時刻も追々と經つて行く

子の別にもちかくなつて來す。

んに持つた『青の眠色』のあら

キゾテイズムをふん

せら、さて、今年のカット・グラス なくカット・グラス機器でありま 的家庭用品の選手は、

ット・グラスには見られなかつた「れる、一部分にカットをつかつた

いふ新しい製品が生れ、従来のカ 模様サンド・

グラスと

さまざまあります、もうひとつ、 新規向のでは「新典領子」と呼ば

松の書きょう

を切つてあらはねた近代

いいまでも

がられやうとする時一壁上にはつきりと示すことが出来一複雑な機様を出すことが出来るの

るやうにとの念顔からでせう

リップその他の花の圖彩化など、です、その樹橋には、格子、チュ

べてに脱しさが重響 なく、遊飾品としての存在を机上見るもの聞くものす るのはそれ等が歌に食器としてで

せるのです、これによると、今ま

部分へはゴムを當て、他の部分へ

型

型が少く、主に花瓶一派に、食器には新

は通風器で金剛砂を送って置触さ 風化作用を燃用したもので、壁す なりました、これは、砂を取び、

綺麗な複雑な版像を出せるやらに

赤や青のふき館子を自在に出

(3) 戦合憲漫桌新生活調

製品があります、

カットの部分に

でカットでは出せなかつた小さな

どが代表的です。なほ喧嚣は昨年ョッキを大型にしたやうなものな

へば果物味と兼用出来る水盤、ラに月新しいものがあります。たと

と比べて可成りなくなってるます

あの苦は、却々由緒があるの……

に、怪しいことはあつた!しかし

「いや、劇霊は出なかつたが、瞳

と訊いた。交兵衛は、笑ひなが

化性の物か、今階にそは必ず見能 卸して、『さア、魔性のものか、

と、十分心構へして、暫時は、八

「お武家さま。やつばり幽霊が出

名に入り、共盛に、どつかり際を

ソコで、昨夜 陰火の燃えた

スルと、電三治と一緒に来た四

事も起る棚子がない。 たが、時刻が早いせいか、まだ何 ら上り込んで、四邊を起と見廻-

島伯

江正

美鶴

まづ・カットグラスへ

36年夏の 👓

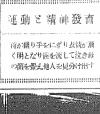
世界的流行色で青らは

どんな新味を初夏のサロンに

っとしてゐるのでせらか

アー心則では主として漢色、備別

般向としては、カップ、タンブ



爺上·病院







本邦乳幼兒發育標準表 6,66RE

におにひをした後取出し、揮撃曲

蒸設させてアイロンをかけると

い防水布になります ウジ虫退治に

夏蜜柑の皮

◇……これから夏にかけて便所 用、動作に病質試状、鉄路がなけとは云へません が日中の 精神作 の兒童は狂々あり、必ずしも病師 原因でせらか、耳の方から瞬に 影響してゐるのではありません を響してゐるのではありません 【答言野崎博士 こんな無質

修くりとおやすみ下さいましい

せん、夏ミカンの皮には四層化成りもよい上に総数にウラが湧きま を細かく刻んで入れておくと、香 の中にわくウジには夏ミカンの皮 れば心配ないかも知れません、中

生物に、その 優眠 入つてしまつ

めに出る犬の飲水香のことです ろしい、まとかげほしにするとよ ろしい。◆まされるのは微波へ行く手供や腕、ず、そのまくかげぼしにするとよ ろしい。◆

月になると時水浴の用意が必要と | と、水洗ひします、石鹼がはつき て絞らずにかげ干しにし、よくか

まんべんなく石鹸水で洗ひ終る

洗ひ終ると同じやうに水運ぎし

智能では極雨はまだ!~ですが來一

品でも、脱い方がわるくては何に **もなりません、上からたと投げ入** 素の膨料が入つてゐるのです 但しどんなによく幼く繋

讀声樾

耳炎との職無は明言出きません

言治に起されて交兵衛が服を費ま して見ると、すつかり昨夜の通り その日も、陽が西に類く頃、頭

道。第三帝の出して吴れた提灯を を出た時は、もう悉ねり暗くなつ てゐた、しかし、一度歩いて馴れた に支圧してあった。 態で、夕在も続り、淵三治の家

素敬

と、ばカり、陰火の立上る方を

「び、交技術を引き止めたが得き人」て、ツイ、トロイト語を開いたばかりで斎くなり、再 味いてゐると、睡飯瀬三治を初め、人々は、妖炊の」さらなものであるが』 今所こ二睡らぬやうに今のうちか 度でも出出けて見る。就いては、 「妖火の正體を確めるまでは、何 ちに堪まらなくゴロリ様になつて 呟いてゐると、脛似がさし

床を取らせて、食事が終ると、交と、家の満に晩咐け、一彩に歴 ら、一般人り致し度い、何辛、日 『よろしう御座います。どうか御 節は、頭から水をあびせられたや 『ウム、大分更けたらしいが、 スルト、正滅にも近い到限と と吹き下してきた風で、双兵

受前には起して臭れるやう。

と、言った。解三治が、

い、陰火が立つてゐる、又失衛が淵思さまの姿の近くから、韓日の光が行き、其方を見ると、 なったやらに思った。 た時に、本堂のはらが急に明る人 と、起き直り、水筒の口をとつ **ガワと一呼吸に水を吞み乾**



応れた様にこれらの

ノーシンを! スグに一服!

めまひをした時など 人いきれでのばせや **汽船、汽車のよい。** 酒の悪醉、二日醉、 クシャクシャした時 関がボンヤリしたり

威海衛、芝罘、大連行

不快を一掃します! します。又胃脇には無 をよくし、心臓を强補 を取りには神経の栄養 樂價 備築として理想的です 識安を無害ですから常

全國業店やデバートに有り三十銭。五十銭。一円。二円 代理店 野口 商會

命回避滅 九州郵船本式會社

NAME OF ではアン・シーグ 社會名合鄉太長川麓 は、 大月六 日、 大月六 日、 大川、 市森、 原館、 小様・ 大川、 市森、 原館、 小様・ 大川、 市森、 原館、 小様・ 大川、 市森、 原館、 小様・ 本世及代理店・ 御申 本世及代理店・ 御申 公山 N 代理店 卵鲜亚送支店 大月五 日 新建出机 代理店 富田 **西**會 海出界。 代魯语 國際延輸支店 大月二 日 海出帆 代理店 国际正规支店

役動等で疲れた時、 **顧書、研究、裁縫、** カンガン、痛む時 **ナタチタ、ヅキヅキ** 嶋谷汽船株式會社

寫 眞

清君(短)

田島直人君(脈)

住では七米七四の記録を持つ日本 では強いを根手としての活躍が開

- 1 黒「と十一」白九一黒「と十二」白「へ十二」

●二九 助・A ○二三 同 ●二九 助・A ○二三 同 ●二五三 同 ○二五五 助

3+

(制限時間各八時間)

とうた趣向は資質用来る 三段 桐田正義 三段 桐田正義



待望の名歌手

キープラ來演

以前に壁られた状を見せ特にへり、底、昨年乾生肪標度を悪ひ歐洲達 砂一の日本記録を作品されればるとスプ

聴で京城来版)その他 テイボウ(近く本連招

- 、ストローク氏の手に依一即も例の上海の音樂マネ

原田正夫君(點

| 日語・江戸の春遊山棚▲フォック

能新一大| 九し | 巳] - 七篇書 (審判率、 患

て大島君と共にその活躍を期

Reservation of the second seco

5—M

年大阪に於ける日来劉統には金には目撃しい郷境振りを見せ、一昨





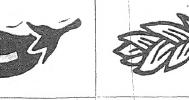
あちらの千葉早智子さん 母なればこそと掲影中

| 「ハリウッド同盟] ド・じ・しで タ・ゲイブル氏をも訪した| 「ハリウッド同盟] ド・じ・しで タ・ゲイブル氏をも訪した 「制真はその撮影シーン













鯉の

あ

6

まぜ合せます。そこで流し箱に漏れ紙を敷き入れてから、そ入れ、味の素、鹽、胡椒、砂糖等と変配の南瓜を加へて充分入れ、味の素、鹽、は、

粉を煮出汁で落きまぜてから、更に玉子をまぜ くむしあげ、冷ない中に褒疏にかけます。片で南瓜の皮をむいて適宜に切り、蒸鞣に入れていた。といいないでは、

蒸器に入れて軟

に添へたり、又は、山菱醬油に味の素を入れ、青紫蘇と茗荷を刺んでつまにして手入れ、青紫蘇と茗荷を刺んでつまにして手 あります。季節料理として「鯉のあらひ」等 しくなる季節や美味しい時機があり、 總ての食物にはそれく、「シュン」 には大概收穫が多い

揚茄子の南鬱甸かけ

切として大根おろしにまぜ、醬油、味の素を加へて、「南



に十五六分後してアクを抜きます。 蓮根の皮をむき一分位のアラレに切り、 水量二十分の一位で 所願をまぜた水の中

大和芋は皮をむいて摺り卸し、砂糖、鹽、醬油と味の窯を加

てよくすりまぜ、更

糖、味の素で淡味をつけ、 にソバ粉を一寸炒りつけてまぜ合せま 女に蓮根の水をきつて、少量の胡麻油で炒りつけ、被る位に 私出汁を加へ、鹽、 砂

生姜の糠切を配らひ、三杯酢に卸山菱を少々まぜて別の器に副きなく 4、4、4、4、6してから投き出し、玉クに切り分けて皿にむして出り着のまり冷してから抜き出し、玉クに切り分けて皿にな て出し箱のまゝ命してから拔き出し、玉グに切り分けて皿に盛り、青海斉粉をふりかけ、紅をこで辨賞箱の如き器の内面に、胡麻油を塗りまぜた材料を詰め、蒸器に人れて約二十分間蒸 さますの

け、前のトマトの中に詰め、天火の中段に入れ、バタを傍に置 を下し金で下して、食パンを極く少し水で搾つて小さくちぎり、する。昔もまる。 さ、三十分位焼きます。 その三品を選ぜ合せ、卵をつなさに入れて、鹽、胡椒で味をつ、中身をナイフの先きで繰りねさます。別に牛の挽肉に、玉椒、

胡椒味の素で味づけして、 トーにします。馬鈴碆を賽の目にでも短冊にでも切りバタでフラ かけて出します。グレービーがきれいなどろくへにならなければ 人れて火にかけ、スープで少しづゝゆるめ、どろ!~にして"鹽"

これは一寸ハイカラでおいしいお料理です。生のトアトの嫌 ひな方にでも、これなら喜ばれます。



この調味料

この材料に





滿粉工塲買收

改組問題決せ

着々鮮内制覇を淮

将來增設の意向 期計畫完成す

一松本社長の式鮮

到着貨物の三割

年家蠶絲の

新斯五風匹雞匹

女項製鍊所

頭實施せん

人許可制

が相より村井總領事に對し

今一度の折衝方訓電

九八七以白米三〇条大豆三五〇

| 11年 | 1



内務省が乘出

一人首腦部會議開催

新の具體化

甘庶京城新府尹着任

人の回答文は

武藤書記官は語る

とは下らの立派 とは下らの立派 中を五月のある な町▲その近代

の老人怒るさい 地から織り出て Bり▲恐ち人見面上に重んとする日 研愛用のカメラー(小イタリー系の つた幌島山を書 山支げへと利力 パチンとやった いと飛び出した

か

愈よけふ公布さる

拓殖株式會社令

局長らに訓示藏相けふ地方

州致し今後の財産を持ち、

出道の副新につ

汎米國際法廷

则"则

で表後地引 の 立翼(G の 立翼(G の 立翼(G の 立翼(G の 立翼(G





かり鑑覧者を射 たところ▲老人

子の老人の怒り 光生にやく、笑 お狂ひを人とい - 一 開日全部 数天 ・ 排水数天脈市 ・ 排水数天脈市 議兵分

痛みと

るとに決定して

凝り。

が、筋肉の深部に故障のも…とにかく皮膚は破れない打つた、挫いた、腫れた… ルを擦り込む、いつの間に るときは、すぐサロメチー

る塗り薬などト進ひ、深部皮膚の表面のみ粘滑にさせ で、炎症を解消させるのが 筋肉の奥の奥まで滲み込ん か炎症が消え去るものです

サロメチールの特長です。

なり、これに開発する五分科園田

歴である 解省令) を四日 度行を以て昭和

省級表

賃借替

陸軍中央部は現地に期待

王力原衛成地

いつの間にか痛みと繰りが消えるリームで、カブれもせず、それで ばれて居ります。純白の清源な夕観緒、層の凝り、などに非常に客その他お年寄りのロイマテスや神

ところに魅力があるからです。

設置案に反對

端本題相

近十銭・一個

用の無電局設置 警察の迅速化専

抹の農村更 英米兩國の暗躍に

- 黄檀土横田秀雄

勇

はに





六月號(第三百四十三號)(東海京中鎮)

政界夜話―政黨は何ら動くか悪。虎の門隱士 明治維新と昭和維新 北支の經濟的價值…需需要需量。澁谷禮治 思想史は見た日本人の獨創鏡野物果田 **佐傾・右傾といふことば驅
嬲
誤
朝 同信
成**

特別議會論戦の跡!

朝鮮官界大異動中の人々 農釋尾東邦 記

■鮮展第二部及第三部の短評 ❷鮮展第一部管見--皇京城醫事の展望 苑南隱士

桑西禪師 工藝斷想 本型 蜡 产 選 田 運 雄

鮮満の財界と事業界 朝鮮の野談を語る 洋行打明け話 新版紅毛干夜一夜 鎌倉保育園支部を訪ねて 全官界異動表 **遠竹中三** 鐵塔開人 本意記 吉

目専門薬

山本三平

●編輯室より

風聞駄話…

西に勝美・東に定 發行所 朝鮮 及京城府蛤町(西小門外)

上昇とが、中述で一下をなして(

ーテン・ク

社會各合

任郷将校も加はり

烈な科學戦

本宮、咸興、興上を舞臺に

「度新に消費速源田物送が戦みられてみたが [清津] 松田向の北朝空大豆板粕

北滿大豆板粕

諸兵聯合演習展

定である、なほモス級の飛行機は

理位商八木五郎氏方を襲び鬼刀で、で脅迫したところから察し架方面 (元-1)三十日朱明暦内上里一詞 二人祖凱鑑は 何れも補朝な 国語 投査に苦心 る、披露都八木氏の陳遠によると

同氏夫婦を脅迫の上現金自除国を

が近くが北勢結構として配廊の単

年北紫紫機をして九二式偵察機が | 二分の循環が出來るものと一日も

優秀な飛翔力をもつてゐるので十

早く英姿の出現を辞訳されてゐる て所外に 逃走したか、一それとも

てゐるが、犯人は蘇脫網を答つ

元山の强盗

國境の空の護りに

近く偵察機飛ぶ

陸軍航空本部心護渡交涉

平北の警備陣強化

で方法に於て從削と掘りなく場頭運幣に代行させることゝなつたの

版の花を吹かせた境頭作業の頑鄙 国際遊輸均頭事物所には郭たに南れてその是非につき騒響業務が蔵 との処況をもつてある。たほ一日から二階境頭終業を明始した、か る

港間一の既定方針により

れた議論では既報の通り去る一日 三番に於ける終始融設を貸付さ

陣容を建て直す

積極的政策を樹立のため

近く議員會を開

化間作業料が

満鐵委任實現した

節作業の資金
歩唱を撤離する 二十二百餘名が寄生最保持者であ

清雄二港の荷役賃

諸氏龍に非上祁守、瀧澤昂長は1になり中山、久武、西村、孔瀧の 無数であった 聖統工場の 高数につ 日午町十時知事を初め帰係筋を除 ては飽くまで質別を聞するこ

山脈岩、先行の黄君縣まで來て宿。相當なものであるが各額の配置や「世麗智のため市中は自然膜つて

で既然質を離す場 つてるたが来て見るとそれら、田舎美い歌じが かりが解を選ねてゐるだらうと

ら開けば客が融合とので待遇が思う、一題して遊覧バスで市中を取

片山津温泉の風光

名薬反魂丹のいはれ因縁

山を見物

着川」祭梁朝では一日午後七時

議の赤

布毛記

育異の感じがした、やかで整音

郷してゐて今日富山に來ての師り

総成十二名の敗盟を一日午前九時一の結果左の諸氏宮護した

「漫南」両工館では今年満期の前、から局館事務所閣上で執行、

評議員を改選し

優良店員の表彰式

繁榮會から

鑑んになり昨今では一日平均鑑石 | 十三,80三千百三十七尺となつてを | 三分でこの外額私職性の選款も鑑しから選款の器状を公理したもの) | 【重響】航空歌使の利用は組々と | 医における皆職の曹上命は五百五 | く) に勢する一人傷り平均は九尺 | 一萬三十一回、私態総置(総修品)

年の檢擧數二千三百件

間島組私局の苦心

會寧の航空 航至郵便の利用は追えと 一姓己 間點類公局「内腹遮」年り、人口五十九萬人(安國縣を除、三十三萬七十六百四十七斤、

ス二十餘名に歩七四椒蹴の大郎で

上部町の研究超安ある外左の特別度対策断別が関連対策の対策を対策が対策を対策が対策を対策が対策を対策が対策を対策を対策を対策を対策を対策を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象

成を待つて本引機ぎを行ふことと一目立つて確えてゐる近く内鮮誠の

込みで飛び器で作成中の地融の完 |とも各十二、三道あり殊に野治は

空の配達は増加するだらうと郵便 航空メールが光質すれば一層この 江原道の林産

記念祭脹ふ

全面積の人間を林野で占「【離墓】開港十五間年記念袋は「一金四千圓を突破し早くも前年中の

朝頭盛京丸で横瀬に仕向けること

をみせてある。優様されたものは「増加せしめるには影響業者の取締三十八名に選し三倍する極難成離」最質事業が行はれ管題の實上げを

旣に百餘名を檢學、罰金四千圓突破

汚名を雪ぐ

内轄博和の機器に全力をあげての「劉舒人が過半を占めてあるが内地」が必要とされる所以である慶粵詞

のやうに一蹶また一蹶と縛につき、呆れ縄で、一日早前も内鮮人から、質内に持つ間緊縛延局では宮下宛近石間の激技が中も保へ上り返日。ての腰やかな緩が層景には貧局も、興量局まで窮然五十里の関度線を 人も十敗名あり老者男女人り混つ 国 (三良から七里上流)からと

一級「第二級に二十五ヶ所の網仏

命ずががいる。

信述四年四ヶ月級りに元の古典 に戻って来たので何となく懲し に戻って来たので明となく懲し に思って来たので何となく懲し いぶじがする、あの時分に約つ のも襲しい、この前の在任期間 のも襲しい。この前の在任期間

武田 直馬

(宋)▲一六聚市题卷(4) 山(新)▲一六聚市四聚雄(4) 山(新)▲一六聚市四聚雄(4) 飲みますよ 江原道に返り咲きした 瀬戸さんの第一聲 朗らかな山下さん と兵面部長の住水蜒跡に及べば 物に及び結局令全部で一番立脈な網いて話は豊富や江脱道器の古建 良川鼠の姿能式を地行・迫間長 加平郡守に ることとなった 五日経の顕著が 五日経の顕著が 美の

やはり懐し

令. 計

どうぞ御鞭撻を

権重植氏の一初放送

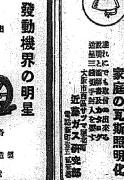
火がつく

學童の八割 はお腹に蟲

村雄基邑長

政を語る





地樂新最高優位入選 部工商田吉端 元造翠四七五町里今大區成果市東大 番○七八三・ニーハ・ーニ六東語電

館では飛掘時代を理へた質解の中一物所の設計を急がしめ完成次第記 **慢活動機關として愈よ從來の消極 微電談に踏ることになってみるほうがです。**

基は反對

政策を果てる積極的に大震感建設が、部質制度を復活せしめ各部門

理局小牌副局長が雄雄へ出張關係。樹て興識に副ふことになった。そ 【豊多】治産二治研究の経療後(原語の意思)がし、近く旅説師を、既に関党の引上庁を断行して権政・一人の新なスタートを切ることに首 でそれぐ、確認的動することと

役をしないものにも夜何符段が一を與へることは出来ぬ、作業料を與へることは出来ぬ、作業料が、作業料が、

賭博の街。會寧の

招集して協議の上諸股の新政策を

『僕も大い

智繇した山下部長を部長祭に

はなりとか防火口部特別とか防火口部特

場馬 / 杉市山歌和 橋町京邑 西市阪大 部品聚虫属社會式株物酒油南

ただし生水の話

を超す昨今となり、水を掘る繋は一説を一掃したが、更に三日間標の「て消息なきに他元民は髪虚、

愛見を殺害して

のは 一般である。なほ父科力松氏は と日間、日帝の何後に出催した典型 のは大であると

年度の戸班和正に国的印度中を示されて、一世に、日本の戸班和正に国的印度中を示されて、一世に、日本の戸町に、日本の戸町の戸町の戸町の戸町の戸町の戸町の戸町の下町の下町の下町の下町の下町の下町の下町の下町の

勿識この説くましい美額は菌を歌郷早連隣山殿隊長に報告、登内は

この事を上信が耳にして「臓く感」に特励してゐたが、たまたま二日

|時に變異演習と授養演習も質施の | 戸が発施で四千五百月に對し

年來河川政修の恩思を受け場所も 元全に増築され歳早殆んど豫定の 【密唱】洛東沿岸各水利組合は昨

更生に曙光 初日水組の 貿易館も創設

朝武人は佐々木が之助、安部早

常時商工業者の健康打診

た結果で基準に向へば出願も歌増しあちこちから聞えてが、所然東部

これる來月店開き

や電点設備の真つ最中、一番苦心」とれるやらにし、ビールとかサイ 盤明想を宇垣越營、今井田政務網

さあく、皆さん御利用下さ

美装凝らしてデビユ

〜七月一日華かに店開き

際の新果に覆いてゐたとれて閉壁になるけた質問では世野戦一萬五千

蘊蓄を傾けて研究

W H

スリハ

全剛

山岸天佑

本町丁目

・ 卸と小賣・通信販賣・ ・ 卸と小賣・通信販賣・ ・ 卸と小賣・通信販賣・

である。

東調べを受け直ちに結合者に留置

| 「金山」新手の総職展開|||金薗和 | 氏は同画内極度で収拾した影響| レリスは二十二百名に選し好職等|| 超都北東面生れ郷日永(三)は内地 | 配を採用する約束で収拾した影響| た男女は二十二百名に選し好職の機能が出面生れ郷日永(三)は内地 配を採用する約束で収拾した影響| レリッドで初日を履行したが押し取け

西公園會館

飲不良で作説を懸念され地方に

悲客引にだまされた男の

新手つひに露見

首刈取り明始廿日完了に比した概略を不揃いなので昨年のよ

朝の進意を疑へ十日から一週間を開では二日付で各部へ別取り實施

列取り期として監察を斟酌する。

所に自慢としてある。動語では和地はつくら 一般代を和他にする機能である。
「本の音点と、現在のは多流曲所に年中部」メー、アイスクリーム、コーヒ、 能、本路各局長、標生細胞は長、立力に、 はれた耳、汚れたれ感はましてある。動語では和地はつくら 一般たと彼女の語語としたのになって地域へるほどやヤシに 登に席で、歌音の子り役に頭を吹いた、 はま形によいのである。 がは、 本野田ではの地の東クとして成立の後継部は、京城市の後継部は、京城市のといた、 ないになって地域へるほどやヤシに 登に席で 歌音の子り役に頭を 一十下に、後氏と彼女の語語としたのになって地域へるほどやヤシに 登に席で 歌音の子り役に頭を 一十下に、後氏と彼女の語語としたのになって地域へるほどやヤシに 登に席で 歌音の子り役に頭を 一十下に、後氏と彼女の語語とした 「木の新設とった、 はれたな。 但したった、 はれた耳、 方れたれ感はましてある。 物語ですり役に頭を 「一本年前共はスルコニーは無報と力を成ってある。 他に 一本年前共はスルコニーは無報 「一本年前共はスルコニーは無報」の後継部は、京城市内として、 「本の音局長、終生細胞部長、 「本の音」を 「本の

でに特異の存在二

力を通じ相當思ひ切つで引下げす。ものが今度は道一個一律に行はれ

頭電点の料金値下げは電温、動一各地の質情に勝じて高低があった 大田」七月一日から質励される一名度定で企家師社供記写内の設北

大興電氣の値下

慶北道内一律にし

活州の簡問點呼

慶南の麥作

七月一日から實施

で十二、三面であつたが一面乃至 |を驚かしてゐるが、必然的に地像||金微以上嵌織を指ぐものでないか| 一町歩も全滅し一粒の牧艦見込

廣州の緑肥

上川の納稅

【上川】上川紀務を下内の十一年

日 加で商人の景気のよさを認証り、と大変ないが、最繁は粒一割の増せた大変ないが、最繁は粒一割の増 五百四十二人、この總裁部は二京 度祭業就第一期分は調査人能一千

川石約二百十町を播催して自

か民 に贈

「大邱」 酷聚地線一番、金巳石外

根拠のため、「週間の摩定で實施さ

ス像防注射

到

整绘

(都之是)

知らすな、の遺言を固く守り通す

京仁線の暗波は近く質視をみるも



 $\mathfrak{I}\mathfrak{D}$ 野 楊の字及の教を そめて城る新世常

山奇 ĦΙ

洗 ラ 電 閉 嬰 各 面 チ 風 選 所 オ 語 機 房 共 釜山府大倉町 卷山郵便本局裏 電京 竜城 門 九岡 · 這 型 士 一 士

港水 テル 御食事

舘 開 築 新

御一人様の、七五均一 米澤萬正堂 京城本 - 電本四〇一六

知せずにゐたが、世九日融蔵から「事は八日积山著へ出張、松紫沙を書したので、深入も歐夫若には通「清州」浙州、昭州南法院支懿極

吉田氏は首位當選

あると

行。に出版域に編入される里湖と境界にに出版域に編入される里湖と境形の来内で新

「実践二十六名は去る二十八日(羅津)本府斡旋の南轄労働者 五分羅南韓省列車で到着

級髙

蕙

忠南北豫選大會

湯纜斯水

管管管道

対圧管。

不朽不变性。

用用用用

工業

朝鮮總販壽店

三和商曹京城支店

京城府永樂町二/七六 (電話來局四八〇一)

野師院を終ば

不仲の夫と別れたさに

どんだ家庭慘劇

行中であったが、報査の結果左の一幅記であった

慶北當局案を練る

ので六、七の兩日に亘り未散収二

雹害の救濟

会能感謝選手極大館の檜郷郷に出場すべき思情南北南遊代表半島を式庭城界の最高峰……大月下旬、京城で開く本礼主他

酸。対アルカリ用學研究所發明品

塗布にて足る錆止用

力

(塗料)

は

赤丁字和一字社 全江竜点 與 西 西 西 西 西 新 所 杊 社朝鲜本部病院眼科川学校附属医院眼科国大学附属医院眼科

各官公私 附近医病院 院院 立医祝服 和院科科

鏡信 所製調

定指御

科科科

京城本町一二 (郵便局前) 南本②50 / 由 106 高京城346番



中山李淺州保田

大電像しようと繁盛業が日になつ。な緊張を示してある。 一つてある。測量隊隊が直路を接ん総当の明通と同時に、駆用八乗を一つけようとする運動も起り、異常「く、未開の江殿道らしい気分が張

つて行くほど就想をしいものもた。十余日の皇家をいろはうれくくと、部舎から監査ゼラの一郎の最七二は火田が踏みと觀いて、山鉄に入、延轍しようといこのである。上十二行くと、岡肇郎の郡巴丁る金佐里

半島の實庫を貫く中央線象定地縦走

一歩江殿道に入ると策嶽の麓附近一百米の雑嶽山脈の中央郡を纏道は「岩石のごろ

で兩側の山に翻つてゐた、海域大つてゐる。測量隊就が追路を挟ん

丁度記者と、足量ひに那經遺局理

が歴史される様なことがあつては一世とねばなられので、真一堂定識

の雰囲気に包まれて最初のよい感

でも見ながら京城に出るとすれば

断し、金と資源の避難と産業地帯登山から中央線で簡単の屋根を厳

な期待をかけてある

したがは学世学院の様子に見受いなかい。関をときめかりないかと、関をときめからないがある事實だららか

とであらら

てゐる名勝地もやがて世に出るこ

鐵道開通近して地價が鰻上り

よりつめる、竹部を越えるほどの一人が家様した、披富面事務所に打一

はまとまつた町だ、平野こそな一十る京児新規配養の實地踏在の途

活躍中の測量の状態を聴くことがも四月十日以來急げく、とばかり 合せに行く途中とあり、はしなく

る。所へ鍵道協通の言戦から地質

夜瀬行で進められてゐる。 英事が

がぐんし上つて来た、同様後生

測量隊は廿日引揚げ

て領航を練つてゐる、記者を翻訳

ら切めて國庫細則が認められ、鬼「類罷用道が好か局に來て粃糠謀で「鰥可しこれに耀則を與こる語である朝耶の郡年訓練所は、昨年度か「百百名に遂し、なほ能々各道から」の職際上、明常リーケ所の新観を

私立十)関係職員も首高、生徒二十一軍聖兵中であるが、本年度は慶原

更に拍車

在は金野で七十二株(公立六十二

中堅青年養成に努む

要は、地下る原派公立ある

成の緊要なる時勢に競み、用手度

非常時と離離の中壁青年義 | 大衆の生活敗落の掲針ともなる底

は奥に隆原を備大し各地の新設

から、半島民衆の近韓間も明州奈 は以所され、総節的になって冗世

縣字和監督の手に依り破壊されて

継ぎに、生る石月二十三日豊媛

村、平井、津路(県)

職賞富選者近く發表 一蔵を行ひ、近日中の本紙スポーフ 駅舎の一条件教館県一選信一 廊主信は打きは自締りつてるるが 打舎・中島・県宮 佐田・高田人塾 てきるより十十五里の小寺館育文 近年の一条 は、一条 は、一条 にあいる。 からに決定したので、 適中者の油 がおいた。 からに決定したので、 適中者の油 がおいた。 なるか」の懸行は多数の発電を得 がおいた。 からに決定したので、 適中者の油

所續々と新設

| 海・陂の七割百分で第二院を獲録(ム小智原君) | 返信||回職に敗れ、たが優勝率三、決定した(寫真は優勝の種銀子) | 返信||回職に敗れ、たが優勝率三、決定した(寫真は優勝の種銀子)

強級対議信第二回戦を以て完了し た、航船を見るに確銀は最後の場一

型となった、なほ百位打香は殖動 一位、腹勝率は川項の通りで結局 一位、腹勝率は川項の通りで結局

学数 打率指示 スト 1 375 (スト 1 321 上 打 数 1 321 上 打 数 1 303 日 4 303 日 2 270 上 2 285 上 5 267

而る首位打者は小笠原主將

南君ら懐しの郷土を通

七日に東京發

出場、同月二十三日には日帰護技|闘者の意定である

整正智徳の使り選々として到る温岡温泉で最も興味ある鮒釣り向 一萬國を投じて敗裝されることと

神井湖鮒釣り會

ーチ爾氏に引率され、之に根來 鈴木房重君らのマラソン選手 南昇旭明君を始め鹽旭王 柳森田俊彦。佐藤

者、蹶君の母校養正高型の先輩、八十七列型で朝鮮情盛役歳、闘僚の十七列型で朝鮮情盛役歳、闘僚 **光都線と共にベルリン遠征の途中** をして午後三時州分譲の「のぞみ」

【東京な話】 表ガオリンピック陸

(ベリに於て) 九月五、六兩日に 温陽溫泉入浴

ら賦十日までオリンピクク大館に「耐七日ベルリン部・二十三日東京 | 卅一・一・二・三日の五日間のへは七月二十六日着。人月一日か は日淵張茂(ライブナヒに於て) ◆……線けたのは京張騰で甘れ、

九十銭といふ数字を示した

MYP

延来コート側の高地を切りとつて

中、人用家の上南大門巡り三丁目常、整一旅川道り三丁目常、整一旅川川

女

(重物産権) 塩井醫院

現在確業中居扱の主へ俗安にて渡

※ 京目案内

醫

師招贈に関す

名任

ď

姓名在

・ラウンドの不備を補ふ器であた 火玉屋、シは一日午後七時頃

器の貼があるので本町器から書 間もなく死亡したが、病因に不

▲大物質=二等迄▲數員二等迄以下等外質を呈す 愈貴全額を添へて京城日報社事業部(電本局一、

日夕食は各自々辨のこと)

当に限り特に意倒にて掲載す出に限り特に意図をは一回毎に五十四五十段居名は一回毎に五十四五十段居名は一回毎に五十四五十段居名は一回毎に五十四五十分に関いて、

臺灣新

闡

突然姿晦ます

やはらかい

松澤ボーサンで輸

顔本 いろしお晶水

店商釋松 社會名合

影

肌 を保て

知事から光腰となった時間点即

即座上間上合公 豐富 女價で





御

禮

特製

食料

販賣店

けふの天氣

直接ベルリンのオリンピック村 選手書脳優行した機像な面に決心 総、一路北行の象定で、コンが照くならないかと心配し であることになつてあるが、独立といるでは、ころ選手に担当を言言が、内日ことを通過する違 で初は絶到目信がある しまが、後選手、職総、ンペリア終田でべてある、九日ことを通過する違 で初は絶到目信がある し 一般で歌は来る七日午後こであった。九日ことを通過する違 で初は絶到目信がある し 一般で歌は来る七日午後ことになつてあるが、何しろ汽車は 就ってろ選手に担当を言言が、大餐 【見点点話】我がオリンリンへ向よ、ベルリン者は十六 に入つて練習をする言だ、大餐 【見点点話】我がオリンリンへ向よ、ベルリン者は十六

征靭は絶對目信がある。 向よが、途中九日午後三時二十分征羽は絶對目信がある。 上壺夜劉は來る上日午後九時東京をに除くをも三回位は正式のコート壺夜劉は來る上日午後九時東京をに除くをも三回位は正式のコーニュ

たら一日自起以上も劉心位で想際以上です。しかも温泉で展帯をを左記によって脱離します。劉り盧は神井閣で切し上手な人でし 常するといる釣人整選高丈の誠しです。同好の士の参加数型 、 日7程 、 八月7日(土) 年後四時、十五分高城艦級――年、 一 17年 、 八月7日(土) 年後四時、十五分高城艦級――年後七時温職者、神光部宿泊――七日午後七時温職

たがこの雨まだ本格的でない

京城日報

と平原地方が懸げば、平北一帯は一しくなつて來た失光、遊みの雨が

十五年來の大旱魃だし、都曾人ですらそろく、雨が無

雨乞ひの農民を狂喜さす

肺から荷嶋で多田、三木、大倉、

强励他町,七二中川西店支店 (主主調べると規能八十一回がな け過げしたものと、観覧

恐るべき自供

府七縣被害千萬圓

後の限るべき熊本縣下に列車版書、一先づ松山旅帯所に砂球・脱、教育、劉徳縣計二十四件及び一事件をすらすらと自供した

里動送迎終幕

放火魔古川は送局

で霜京城府尹甘庶戦地さんが家

當

選

御禮

昭和十一年六月三日

敬具

浦上七三

東京日本福

選御

新孝院茲に乍略儀以派上御厚禮申述候 敬具務孝院茲に乍略儀以派上御厚禮申述候 敬具秀次郎氏を推薦致候處最高點を以て當選の秀次郎氏を推薦致候處最高點を以て當選の

推薦者 阃

今回仁川商工會議所議員候補皆として卸推 偏に有權者各位の熟誠なる御後援御同情の 候茲に乍略儀不取敢紙上を以て御厚禮申述 各位の熱誠なる御後援暉同情の賜と濮謝奉 薦を忝ふし且當選の榮を得候は偏に有權者 賜と深謝奉候茲に乍略儀不取敢紙上を以て 生

度如斯御座候 敬具

昭和十一年六月三日

柯

寬

あきらめ兼ねて云つた。

撤保なして

節つしやる文紙様です

步

けに賛成出来ない、ことは五八かで辛恵したのは深い自信確信

步角玉

香桂銀

步

▼六七銀上。2(分) ▽上四步(10分)

六歩と自ら負道を金 易二郎

步

意味に取れる間ひ方だ。

『では、父の機能と云ふことにし

一」と母在は、早一

調を來しては、それは耐時に自分 鎌山や、共農に融く三百の坑夫選 場合、辞太の立場ほどうなるか?

气 危機で財政的の他

もつと手近い、

闘は七八玉迄の局面

先六段動

塚北

勘係

郎郎

も多少の無理は忍びます と突き超される懸念がありますか とでき起される懸念がありますか

七七百は五九に引か

「持駒」▼飯塚氏

級とやく立つた鳥のに角が捌きにつて考べて見ると、第一幕に五七なければ攻めに利かない。今に左

郷心かり

指を浴せかけるやうなものだ。

文鑑に隣に長い年月に亘つて

二流争弱血

7

物です、玉を手厚くして後の味をもありませんし、又それは穴の鉄

と云つて、手形が不復りになった

あるのを承知の上で

東したことさへ、自分の眺り知ら

はあるが、脳利貨、

十分の時間を呼ぶやうな場合で

同二時 スポー同二時 スポー

作奏、大阪ラデオオーケストラ 開選時三五分(大) 層民歌語(第

上の空で聞いてゐた。自分が今時

上機械の岩谷の喋舌を調散は、

とをいってしまいと、電話を切つ

の風 陸南晋射作祠 複本芝水午後零時〇五分 東。琵琶 五丈原

まつた。戦面の内を引用らせ

のは不安だし、間截はいっ丈のこ

かつたが、それをはつきり聞く

考へよが酸をはつまりして来る。

一色々な

もさうお考へになったり、迷ったたかに 由于関近の 金の形だ。何

れ、ハンンの別方にも似合はない

7 元の字とさった。 1 この年度が、 1 日下のとこった。 1 日下のをとこった。 1 日下のをこった。 1 日下のをこ

『擅像にすると仰つしゃるんです

流石に防戦も後はいか辿る。

四はますが、一生で記ればいるのと

ますが、一先づ三二歳と題つて敬いた。 中らに思います

「はあ?」岩石は、樹蘇を見下ろ

席上

挿話~ 龍子

しかしながら、序盤の作職に當 am つて、整定の行動を懸型しやうと 地取される布師に付いては、金先 生も注意せられてあたやうに次反 りである

『岩谷さん――』 周載の瞳に異様

持時間各七時間 消費時間

▼▽一時間六分

一英五名干鍋削後のものと沖潰さ

本紙一萬號記念懸賞小說二等當選

禁無斷上渡映艦

込むことは従石に出來なかつた。

(朝 保 朝 羅 謂 雅

同六時三〇分

が、衛生課演、郵保護して永信

同七時 スポーラ語座へ

1ケストラ 同零時三五分 (大) 國民歌語

(十一) 大森 洪太 同二時 婦人の時間 家庭と法律

及び食糧經濟に就 むし幽豫防とホルモ

事の後にはうがひをしなければい。この北斗を配ることない事から頭をよく調を磨き、食・地にひれかしてそ歌

は、生き

生きたる

けない事等も話して関かせます事の後にはらがひをしなければい

一神とうたはれし、孔明最後の術に

して三七二十一日の間、その主座

べるには間が丈夫でなければいけ、十年の、命を態に難し給べよと、食べるとよいが、新ちした倒をた、れんとす、天希はくはあはれみて

黄河 の流む永久に、つきぬ

京城國科藝面會县 满田

東海 (東) の では、 東京 (東) の では、 東) の では、 東京 (東) の では、 東) の では、 東京 (東) の では、 東京 (東) の では、 東) (東) の では、 東) の では、 東京 (東) の では、 東) (東) の では、 東) (東) の では、 東) のでは、 東)

(家)(麗)(羅)(巫)[生車十度年]

強産銀行で、小切手をキャッシ

いた。 銀行正面の厚い硝子戸を押 に替へると問家は、大郎銀行へ会

問題は点直に預金級の窓口

周六時(大)竜岩劇(食べ物の芸

同六時二〇分(東)コドモの新聞

同九時三〇分 憲選隊外

過した米蛇陽像の三法家につい

園部やぶ々に至るまで全国各小學校夫の他認々の鬱醐を重要妨デーは日本では内部省、文部省、鹽芸里省の透透で発験がデーは日本では内部省、文部省、鹽芸里省の透透で登場がデーされります。 とのむし調

朝鮮正榮停君所員

同六時(卷) お話 孝子清九郎

五日のき、物

同八時一五分(札)倶鑑 追分節同八時(前・仙)河鹿を斃く

同四時ニュース、氣象遊歌・後

行つて、政新らしい百囲札の東

ひかけてゐた。 鎌山を岩谷の檐間 『……』右すべきか、左を行くべ な調けた。 -----でかければ、財ると仰つし 「では、勝保を提供すれば、直に 岩谷は、何處迄も人を喰つたや 一 茶合は可笑しくもないことを獨り 造面作つてある

問題を

割にして

れていもあるやうに、脚蔵は殆ど

感したが、であられ感で、

問題は何かヒヤリとするものを

と 「「「「」」」 「同八時 河照を踏く 「同八時 河照を踏く

ŋ +

ンピック大會展望 **温度新聞並運動符及 星 野**

荒城の月 山田耕作案。JOBドラマ≔桃谷演奏所より中畿=Fラマ≔桃谷演奏所より中畿=鎌密アナウンサー 清本 祚次

第2所では、岩谷にまるで操ら

に膨がつて行くことだけが感じら

いーーといつてあましたが……」

一支政長が、一寸お逢ひした

|同七時三〇分(大) 講演 臣器と

同(〇陸三〇分(東) 安島生式 (四) 観人 克 年前九時一分 (鬼) 朝の修育

婦人講座

| 同九時(東)連續選談 | 一 (下)

極く職能に通俗能に申し述べて見たいと俗じます

いたどきますので、今に母園がじ

しはしの欧や健るらん、蜀の大軍の管風の聲、草をかり腰の兵卒が

悲愁の秋更けて、

天も汲みてか我が心

天も汲みてか我が心、、今背一仮召ししせて、みし煌々たる」の歴

はかられたり、麹廷よ追ふで蹴ち

仲運がさそひの仮討と

海に山に旅行の好季節となりまし

た何をか悪へん

整やさしく命ずれば難延すご/ らせよと取配したる横もなく、言 孔明いたくうち喜び、近く姜維をふるごと、十九二十の日は過ぎの

近く姜維を 倶に力を添

が陣をためさんと

非もなしあく是非もなし、われら

師諸葛孔明け、記されたりし幼君

でて口総衛生宣標に白々の鑑しをしてをります。野が勇動に方ては悪質所、右道郷に百済生派と専即職合との後により職をの野獣を行ふて書ります。今日は、御との後世により職々の野獣を行ふて書ります。今日は、御との後世により職々の野獣を行ふて書ります。野が勇動に方では、和諸なりの後世により職々の野獣を行ふて書ります。野が勇動して口総衛生司機に白くの鑑しをしてをります。野が勇動して口総衛生司機を対している。

ニュース・天氣見込・職

を受取った預金器は、神経節な徴

女のやらに、白い手でその礼束

錐な笑ひに濁した。

て手段を消ました上、金はお渡して手段を消ました上、金はお渡し にね、これで私の方も次額步の心 算ですし、厳意のある高は酌んで その命令通りに動いた。

書してある小切手を勿問よって取 革の紙入れの中から、五千面也と 手間を終へると、指行は、思い

銀行の交換手の整に、間蓋は周 雅込んだ。 雑込んだ。 出した。小切手を受取ると、固蔵 商金係へ……の此方は

若含作曲家識麼太郎 北澤 小醫子 村瀬

午後三時半級列車でシベリア經赴く途次三日入城一泊の上四日

オリンピック大管に特徴されて「て範囲を多りた大流子展支量がく職者よびベルリンにおける関係」た、間時に眺る大郎機な機能を以

て楽華を極めた大線合顕成場がベ

ルリン市の西郊グルネワルドを中

心として建設され十萬の職業を容

の實力とその位置とを従来の認過 大殿堂に於て雄闘するに當つてそ 全英庭球派手権大會、並にデ杯

大會への参加招請状を各國に逐し

ン比ねいて大月下旬幾行される レーワルド版士を使命しベルリンとの士、今回英國ウインブルドレーワルド版士を使命しベルリン氏は既に我関連新芽における著一長に國際スポーツ界から信望ある

界空間の計畫である

と思ひます」と云ふのがありまし ので今にもうく、鳴くやらになる ます」「中間ばかりいたいきます やが芋になってしまひますと思ひ

を振過することとなったが期回の

ロスアンゼルス大館に被べて三百 ||百七十歳名の大デレゲーション

のスポーッ界が來る。ルリン大館

に選手を配置し世界スポーツ界の

ならない淵をよく解る様に話して

(お) ダさんは二人をいまし

一度のかり枕、今度こそはと重みしの近に備へんと企てゝ、こゝに六

す器の図を、攻めほろ圧して建図 を守り背でく國の島め、我に仇な

類よ秋の仮の は四巻寂として、 に脱げかべてよろこ な姿能よと将せく呼

の粉ともならむ漢

とも、ならむ器

護すべし冥府にわれも守らんと、れに代りて幼苔を、力を確しく守

搭集病薬過~器

こびね、其の安はみたる雨の歌

継をなだめ申すやう。われなき後 退田す、孔明なほも虚りたつ、姜

の探配は姜稚と汝に委すべし、わ

ぶん、あぶらは大切なものであり きかせ人間にはたんぱく質、でん

を吐きつよもやうくし、軍務を

心感りに堪へかねて、血

表と悟れども、そのなきあとを思かりそめのいたつきに、わが身の もさてもつれなし世の風よ、ふと

たった。微かな不安と、ホッとした 四日の番組 一放送 木曜日)

> 〇年のオリンピック伯林の誰で第 多年態をしてゐたドイッは一九二

> > 一容れるスタンド付ブールや其の他 れるスタデイアムを初め二萬人を

世界に誇るべき近代的スポーツ単

| 國大館が、九三六年ベルリン

同土時 今日の天氣見込 一 (二十二) - 丸山郷太郎 憲禄生式(四) ・ 原人 亮忠 同七時〇一分(東)朝の修済・由 (東) ラギオ開機 時(東)連續溝談作曲編曲連指揮。

現金を持つて自動車で行きますか

一何卒、支店長にもさう云つ

新掛の弾り合つた一二一分だつた。

間もなく出て来たらしい資金館

同一〇時 ニュース・氣象通報・ 方へのニユース(京城) ・薬科通報・翌日の香組(地 同九時日〇分(東)時報・ ピアノ獅奏 龍州東山

の支持によって組織委員會は委員

回オリンピック組織委員前

ルグ元職をバトロンとして準備閉一された冬季大宮を序曲として世界 ロスアンゼルス大戦後早くも四期一完全なも設計によってすり で墨行されることに決定したゝめ ク開催の工作は極めて順調に進め ある、この脳の第一 大学期の密は切つて落されたので 電 に即出版の組織と

一川大部に別

云心臓でそれなく積方を書きまし

小僧のあるものをよく謂み厳いて「兵を起うこと大使、力謝くして倒れたならない」、は魚や小島などの縁に「我れ先帝の遺跡かしこみて、盛に()、東多のኤ光武で連れ、入を懺

見たいと思ふのである。

北極等により様めこれを展覚して が全食へも 食べも それから騒災、ヴィタミン、カル

びなくてはならない、情はカルシ 野条果物も食べれば、交魚や島、 らなければいけない事即もお米、 年の肉等も食べなければならない シューム等といろくしなものを描

師の中央に祭っを設け、」が命に

真明はにもを計を油め 七国を祀るの一策をそ

四·五兩日 河 河 東 、 阿 。 東 八 時 此を

田藤川窓廊へマイクを進めて献し明真放送局では昨年七月上棚下に (近日) 頻節 佳一(近日) 頻節 佳一(四日) 町田 五郎

となぞらへし、主席をかこみ貼々

ますから『河路の錐版』になるわ けです。異つた二つの土地の河北

一を聴く事が出來て興趣ほいものが

が削壁の搾りである

たからです。午半年前は二世、て「大しい仙域である。河風の数を開めましたのけ風雨駅の増水石版地、大しい仙域である。河風の数を開けたり、所名より現果を作り、社の電、財産場……初度は後にもたり、のでは、 の午後八時より八分間川潮にマイ ましたが、本年も

ホ六月四日五日 **川巌放送局でも断部川の河北暗撃** たからです。今年は削歳に避いて なりました、昨年より時期を割早 さらな壁で喘く河風の撃を放送し を八分間放送することになってゐ りを据ゑて帰撃を飲めすることに

くまたょくばかりなり、渓頭わき のみのキラキラと、総 リヤツはとひし

生死有命當對在天、秋風足繁五 上頭 思·弗草ய不成位業、落集 深遊鄭樂聲

かられ行き、そのまく息

いっちょうしき ヤーカー あります

遊出アナウンサー

場から進からな所に淡流にもまが 要へることが出来る。 脹ひの盛り き即る場所は市中にも護備所かを

感灾

仙臺(御盛市四瀬川中の)

ふ大自然の聲を贈き得る所、

思つた程業しめず却つて不愉快な 茶らかといふことの葉にしたいと などを甲上げて如何にすれば監察には各職級内側側を利用するも 行の極東と武器の倒で方』『能行 先づ『旅行の文化生活』から『旅 た、然し楽しかるべき旅行もブラ ン如何によっては餘分の世用を使 つたり、或は土地不案内のために が最も緑質的に最も業しく旅行田

毛利元良

旅行の栞

歴 間によろめきて、主感をはつたと のではいるとで、主感をはつたと なと引扱くを、孔明経く押し止め御命館めし憎つくぎ奴、そこ動く 非ず、我が命数の益さしなり、思生の非に主流すでに消えたり、複姓の非に とき、誰が謎の無かるらむ

まさ に盛きなむ命数も、斑

明け日は暮れて、配

斯くて夜は

記さへ仮接数項して しゃな、天意みわた

では、おりけるが、何うろたへのまて、おのが備へを貼めける。 けむ、夜歌々々と呼ばはりて、祭

想ひの魂をのせ、岸の小草にさい おおもなんち、この窓田されもな をむしりて地に泣きし、この思臣 やけど、風合えわたる五丈原、

自動車 本 商 楠 商 會 京城府岩草町大通 商 商 大 ڻ 全洲府本町一丁目 油 淮 偷 雅 生町 六

平 南 店

朝鮮鐵道株式會社自動車販賣所 商

モ ー タ ー 成興府朝日町一三六 Ŧ. 1000 會 鏡 咸

斯界に經濟の新標準を樹立し

附けます

経済気化器

オード・V・8トラック

エンチンに標準装置さして収



オード特約販賣店 フ

及びバスは

新設計の乳化器